

表題：大阪 I R～大阪・関西の成長に向けて～

発行：大阪府・大阪市 I R 推進局 〒559-8555 大阪市住之江区南港北 1-14-16

問合せ先：電話番号 06-6210-9236 ファクシミリ 06-6210-9238

発行時期：令和 4 年（2022 年）3 月 1 日

大阪府・大阪市は、「世界最高水準」の「成長型 I R」の実現に向けて計画を作成しました。I R を大阪・関西の持続的な経済成長のエンジンとして大阪の更なる成長をめざしています。

大阪府知事 吉村 洋文

コンセプト

“結びの水都”

- ・あらゆるものを結ぶ結節点としての大阪 I R
- ・豊かな水辺空間の魅力を体現

ビジョン

“WOW” Next

- ・“WOW” 体験（新鮮な驚きや感動）の提供
- ・新しい“WOW”を地域に届け、地域とともに創出

世界水準のオールインワン M I C E 拠点を形成する国際会議場及び展示等施設

- ・国際会議場施設の最大会議室の収容人数は 6,000 人以上で、全室の収容人数は合計で約 12,000 人以上
- ・展示等施設の展示面積は約 2 万㎡で、多彩なイベントが開催可能

M I C E (マイス)とは、多くの集客交流が見込まれる国際会議や展示会等のビジネスイベントの総称

大阪・関西及び日本の魅力を創造・発信する魅力増進施設

- ・関西ジャパンハウスやジャパン・フードパビリオン等で、日本の伝統的な工芸文化や大阪・関西の食文化等の魅力を発信
- ・ガーデンシアターでは、伝統芸能に新たな表現手法を取り入れた革新的なコンテンツや体験型のイベント等を提供

大阪 I R から日本各地に観光客を送り出す送客施設

- ・関西ツーリズムセンターで、最先端技術を活用した観光情報の提供、専門人材や A I による観光案内等により、日本各地に観光客を送り出す
- ・大規模なバスターミナルや、フェリーターミナル（船着き場を併設）を整備し、アクセス機能を強化

利用者ニーズに対応した特色ある宿泊施設

- ・エンターテインメントホテル、多世代型アクアリゾートホテル、VIP 向け最高級ホテルで構成され、ビジネス客やファミリー層、富裕層など、多様な宿泊へのニーズに対応
- ・3つのホテルの総客室数は約2,500室

国際的なエンターテインメント拠点をめざす来訪及び滞在寄与施設

- ・約3,500席の夢洲シアターで、新しいエンターテインメントを世界に向けて発信するとともに、大阪IRでしか見られないショーやイベントなどを開催
- ・ウォーターフロントでは、イベント等の開催によりにぎわいを創出し、多様な体験を提供

世界最高水準の規制の下での公正・廉潔なカジノ施設

- ・ゲーミング区域は、IR施設の床面積の合計の3%以内とし、適切な国の監視及び管理の下で運営
- ・カジノ施設を利用しない来訪者へ配慮した配置・デザインを計画

大阪IRの設置・運営

- ・IRは、国際会議場や展示場、ホテル、エンターテインメント施設、カジノなどが一体となった施設で、民間事業者が設置し、運営するものです。
- ・大阪IRは、大阪IR株式会社（中核株主：合同会社日本MGMリゾーツ、オリックス株式会社、少数株主：関西地元企業を中心とする20社）が夢洲に設置し、運営する計画となっています。（事業期間は35年間）

懸念事項への対策

IR整備法による規制に加え、大阪独自の対策を講じ、懸念事項の最小化を図ります

ギャンブル等依存症対策

依存症対策のトップランナーをめざし、発症・進行・再発の各段階に応じた、防止・回復のための対策について、世界の先進事例に加え、大阪独自の対策をミックスした総合的な取組みを構築していきます。

< IR事業者の対策例 >

- ・カジノ施設への入場回数の制限
- ・本人・家族等申告によるカジノ施設の利用制限
- ・24時間365日の相談体制の構築
- ・賭け金額や滞在時間の上限設定
- ・ICT技術を活用した問題行動の早期発見

- ・ギャンブル等依存症研究への協力
- ・外部専門家からなる提言機関を設置

<大阪府・大阪市の対策例>

- ・若年層向けの予防啓発の実施
- ・ワンストップ支援拠点の設置
- ・SNSなどを活用した広報啓発
- ・行政・民間団体が連携しての回復支援
- ・身近な相談拠点での相談対応
- ・専門治療プログラムの普及支援
- ・ギャンブル等依存症研究の推進
- ・研修などによる相談員等の育成

治安・地域風俗環境対策

夢洲における警察署等の設置や、大阪府警察の警察職員の増員など、警察力の強化を図った上で、I R事業者との適切な役割分担のもと、治安・地域風俗環境対策に取り組みます。

< I R事業者の対策例>

- ・防犯カメラによる監視や24時間365日体制の自主警備
- ・カジノ施設への暴力団員等や20歳未満の者の入場禁止
- ・マネー・ローンダリング対策や反社会的勢力の排除
- ・テロ対策やサイバーセキュリティの確保

<大阪府・大阪市の対策例>

- ・夢洲における警察署等の設置や府警の警察職員の増員
- ・防犯環境の整備やパトロールの強化
- ・マネー・ローンダリング対策等の犯罪収益対策の推進
- ・夜間巡回や補導活動による青少年の保護

I R立地による効果・地域への貢献

大阪経済の成長や暮らしの充実につなげます

経済波及効果および雇用創出効果

- ・経済波及効果 建設時 約1兆5,800億円 運営 年約1兆1,400億円
- ・雇用創出効果 建設時 約11.6万人 運営 年約9.3万人

※近畿圏における効果

大阪 I R への来訪者数

年間来訪者 約 2,000 万人（国内 約 1,400 万人 国外 約 600 万人）

納付金・入場料の活用

カジノの収益に応じて I R 事業者から納められる納付金やカジノへの入場料を、住民福祉の増進や持続的な成長に向けて広く活用します。

<府市の収入見込み>

年約 1,060 億円（納付金 年約 740 億円 入場料 年約 320 億円）

<収入の使途>

観光振興、地域経済振興、文化芸術の振興、子育て、教育、健康・医療、懸念事項対策など

地域経済の振興・地域社会への貢献

大阪・関西の観光・経済・社会・文化の持続的発展に寄与します。

- ・地元産品の調達や地域ブランディングの向上
- ・大阪・関西への送客強化と地域での消費喚起
- ・質の高い雇用機会の提供や人材基盤強化
- ・イノベーション・新産業の創出支援 など

開業に向けて

- ・大阪 I R の開業時期は 2029 年秋から冬頃をめざしています。
- ・I R 事業の実現には、現時点での不確定事項・課題（新型コロナウイルス感染症の影響、国の詳細制度設計、夢洲特有の課題等）の解決が必要不可欠であり、課題の解決と I R 事業の実現に向け公民連携して取り組んでいきます。
- ・土地所有者として I R 事業用地の適性確保等のため、大阪市（港営事業会計）が概算額約 790 億円を負担することについて市会で審議。

今後の手続き

大阪府・市と大阪 I R 株式会社は、「大阪・夢洲地区特定複合観光施設区域の整備に関する計画」を作成しました。

今後、府議会・市会で審議され、議決を経た上で、令和 4 年 4 月の国への認定申請に向け、取組みを進めていきます。

大阪 I R の計画である「大阪・夢洲地区特定複合観光施設区域の整備に関する計画」の詳細については、I R 推進局のホームページをご覧ください。

<https://www.pref.osaka.lg.jp/irs-suishin/kuikiseibikeikaku/index.html>